

梅窓院通信

十夜号

No. 97
2018/10/01

青山



最勝宝塔と満月

 住職挨拶
 梅窓院第二十五世 中島 真成

今年も残すところが二か月余となり、平成最後の年末年始を迎えることになりました。月日が経つのは早いものです。

今夏も例年同様、梅窓院開基・青山家ゆかりの郡上八幡を訪れました。岐阜県の郡上八幡といえば徹夜の盆踊り、郡上おどりで有名ですが、郡上八幡城を背景にあげられる花火も夏の風物詩のひとつです。梅窓院は青山家とのご縁から毎年花火大会に協賛、ご招待いただいておりますが、今年は見事な花火が夜空を飾りました。写真で恐縮ですが、郡上の花火をお届けします。

さて、皆さんはテレビをご覧になるでしょうか。私はあまり見ない方なのですが、人気番組のひとつに「世界一受けたい授業」という番組があります。各界のスペシャリストに色々な授業をってもらうアカデミック・バラエティで、なかなかの人気だそつです。今年はその「家庭科」の授業で料理の話をした田中越郎先生に梅窓院の文化講演会でお話しをいただけることになりました。演題は「栄養と生命」です。田中先生が今年七月に梅窓院の檀家さんになられたご縁での講演です。なお、今年は開催が十二月になります、詳しくは本紙四面をご覧ください。青山で受けられる世界一の授業、ぜひ皆さんのご参加をお待ちしています。

一方、梅窓院の秋の行事の定番ともいえる、マルティン・ファン・デン・フックさんのピアノリサイタルはフックさんの体調不良から中止となります。一日もはやい快復を祈念するばかりです。



郡上の花火

最後になりましたが、十夜法要では法要、法話に芋煮会、そして今年坂本九さんの愛娘、大島花子さんの特別ライブがあります。

十夜法要

十二月十七日(土)

十夜法要 — 午後三時 — 本堂

今年から法要の開始時間が一時間早まりましたので、ご注意ください。

法話

法要終了後、本堂

講師 菅原麻耶上人

法話終了後、十夜法要にご参列いただいた方に芋煮のふるまいをさせていただきます。
なお、芋煮会だけのご参加はご遠慮いただいております。



十夜回向に関するお知らせ

十夜法要に關しましては、塔婆の申込はがきに「回向のみ」もご一緒にお申込みができます。それぞれ異加料が異なりますのでご注意ください。また、塔婆、回向のみは「〇〇家先祖代々」のみとさせていただきますので、ご了承下さい。

十夜によせて

お十夜は、十月から十一月にかけて行われる念仏会です。「十夜法要」「十夜講」「十夜念仏」ともいい、正しくは「十日十夜法要」といいます。

浄土宗で最も大切な經典の一つ『無量寿經』の巻下に「現世において善行(念仏)を十日十夜行えば、それは仏国土において善行を千年の間行うことよりも尊く勝れている」と説かれていることから、別時(普段の念仏ではなく特別に設ける念仏のための時間)の念仏として、十日十夜にわたり不断念仏を称えて阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法会として、もともとは陰暦の十月五日の夜から十五日の朝にわたって行われていたことに由来します。

この法会が初めて営まれたのは今から五五〇年ほど前、足利義教公の執権職をしていた伊勢守平貞経の弟、貞国が京都・天台宗の真如堂にこもって十日十夜の不断念仏をしたのが始まりとされ、その後、明応四年(一四九五)に鎌倉光明寺の第九



今年の十夜法要で法話をされる菅原麻耶上人。



昨年の十夜法要の様子。

大島花子 特別ライブ

プロフィール

2003年メジャーデビュー。

2014年に発表したアルバム「柿の木坂」からシングルカットされた、父坂本九作詞作曲の「親父」がUSENチャート1位を記録する。

家族の絆、命の尊さをテーマに歌をまじえた講演が好評となり全国で開催中。被災地支援も積極的に行なっている。最新アルバムは「ひめりんご」。



今年は大島花子さんの特別ライブを
法話終了後、観音堂にて開催します!

第9回 秋彼岸写真展 優秀賞発表



特別ライブ終了後
1F観音堂にて発表致します
(時間は前後する場合があります)

塔婆回向一本 七千円
回向のみ一霊 三千円

●お申込方法

同封はがきにご記入の上、十一月十日必着でお申込下さい。

はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照下さい。

●お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払いただくか、当院受付までお持ち下さい。銀行・コンビニでのお支払はできません。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせ下さい。

世・観音祐崇上人(一四二六一一五〇九)

が、後土御門天皇に招かれ宮中で『阿弥陀

経』の講義をされ、さらに真如堂の僧と一

緒に引声念仏を修したところ、感じ入った

天皇より勅許(特別なお許し)が下されて

光明寺で法要を行うようになったのが浄

土宗でのお十夜の始まりとされています。

お十夜において「仏国土での千年の善行

にも勝る」お念仏を感謝の気持ちを込めて

お称えることは、その功德をご先祖さま

へ振り向ける追善のご供養ともなります。

皆様、どうぞご家族お誘い合わせの上、

ぜひ当院のお十夜にご参列下さいませ。

(法務部 菅原)

日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

先日、新しいお檀家様より「梅窓院に2カ所お参りするお墓がある場合、両方お参りしたらいけないのですか?」とご質問いただきました。ご僧侶にお伺いしたところ梅窓院には、何カ所もお参りする仏様がられる方も多いので気にせずにお参り下さいとのことでした。すぐ近くまで来ているのに素通りされるほうが仏様が悲しむ気がいたします。

「ついで参りはいけない」と時々聞きますが、墓参される方の多くは、「これからお友達とお食事に行くの。」「月命日のお参りの後は菓鴨って決めているの。」など、皆さん色々な楽しみを立てておられるようです。

「美容院を青山にしたのよ。」と仰る方に「先に美容院に行って綺麗になったところでお参りして下さいね。」とお話しさせていただいたこともあります。私たちを見かけたらお気軽にお声がけ下さいね!
(墓苑部:森)

M・ファン・デン・フック ピアノリサイタル 中止のお知らせ

秋季行事のピアノリサイタル、今秋はフックさんの健康上の理由から中止となりました。フックさんの挨拶文を掲載させていただきます。

厳しい暑さに加え、各地で大雨の被害が出た今夏もようやく終わり、穏やかな秋の訪れが感じられるようになりました。

皆様にはお揃いで健やかに過ごしていただければ幸いです。

昨秋、梅窓院祖師堂での演奏会「音楽の翼 旅するモーツァルト」で皆様にお会いしてから、オーストリア、オランダ、イランで演奏活動を行っていましたが、春先にツアー滞在地のオランダで肺炎を患いました。お陰様で過日退院しましたが、少し無理をしてしまったかなという反省とともに体のケアをする時期が訪れたと思い、ここ半年は全ての演奏会をキャンセルし体力向上に専念しております。

私は昔、小児喘息を患っておりました頃、ピアノを弾いていると静かに呼吸ができました。今回もやはりピアノを弾くことが一番の励みとなっています。入院中は、医師、看護師の皆さんが気を遣ってクラシック音楽を流してくれましたが、私は全て断りました。私の頭の中では、これまで演奏した曲の数々が常に流れており、その折、新たなアイデアが生まれたりで大忙しだったからです。今、芸術家として次のステップに一歩踏み出しました。

来秋、皆様にお会いできることを大変心待ちにしております。

皆様のご健勝とお幸せをお祈りします。

ピアニスト
マルティン・ファン・デン・フック

行事予定

■ 十夜法要 11月17日(土)

法要開始 午後3時～ 法要/法話/特別ライブ/芋煮会

文化講演会

栄養と生命

日時:12月2日(日)
開場:午後2時15分
開演:午後3時(講演90分)
終演:午後4時30分予定
場所:梅窓院 祖師堂



【講師】田中越郎先生
(東京農業大学教授・医学博士)

入場無料先着300名/事前申込制

田中越郎先生は、食の研究で有名な東京農業大学の栄養科学科教授として活躍されています。

急激な高齢化の進む社会で、健康は国全体のテーマになっています。わたしたちにも大きな関心事である健康の問題を、栄養の面から、医師であり、教育者でもある先生よりお話ししていただけます。

多数の著書を世に送られていますが、一方、軽妙なお話はマスコミでも取り上げられ、日本テレビ「世界一受けたい授業」にもご出演されました。

参加ご希望の方は、下記お問い合わせ先へお電話・FAX・Eメールにてお申込下さい。

【お問合せ・お申込み】 梅窓院 青山文化村
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
TEL 03-3404-8588/FAX 03-3404-8436
E-mail bunkamura@baisouin.or.jp

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お檀家さんに伺いました

平成30年 盂蘭盆会法要にて

「念仏を称えることの大切さ」

昨年に引き続き、今年も法要に参加させていただきました。

ご住職が皆さんで念仏を称えましょう、と仰っていたので実際に声に出して念仏を称えたら心の中で「南無阿弥陀仏」というよりも亡くなった方への感謝の気持ちが込み上げてきました。

また、ご僧侶の人数が多く盂蘭盆会にとっても魅了されました。

発行/梅窓院 発行日/平成30年10月1日 発行人/中島 真成 編集/青山文化村
住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 電話/03-3404-8447 FAX/03-3404-8107
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/ E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/中村康隆元浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡